



虹をかけよう『にしむた』

令和6年5月14日 NO.44

筑後市立西牟田小学校 校長 徳永 裕(文責)

運動会の演技は、低・中・高学年に分かれて行います。実は、そこには「主体的に学ぶ」という場が成り立っています。

一つ上の学年の子どもは、一つ下の学年に手本となる姿を見せなければなりません。そこで、練習に主体性と自立した動きが生まれます。下の学年の子どもは、一つ上の学年の動きに必死になってついていきます。また、1年後には自分も手本になりたい、という思いをもつことでしょう。

今年度の重点目標は「考えをつくり、わかり合う子どもの育成」です。これを達成する上で大切にしていることは、「わかる」ようにするのは「先生」ではなく、「友達」(隣の友達・グループの友達)ということです。先生から教わるのではなく、一つ上の学年や友達同士で学んでいます。

まさに、運動会の練習は、重点目標で目指す一つの姿が表れていると言えます。意図的に下の学年に教えるという場を設定している職員はよく考えていると思います。また、いい加減な態度で練習に参加している子どもは一人もいません。楽しんでます。素晴らしい西牟田の子ども達です。



小グループに分かれて、4年生(白帽子)が3年生(赤帽子)に教えている様子

子ども同士の学びで「わかる」へ



「主体的に子どもが学ぶ」場を設定することで、子ども達の動きの上達もはやい!

指揮する2年生



このような「子ども同士の学び」の場の設定は、運動会練習だけではありません。左の写真は、1年生教室での「朝の活動：ことばの体操(発声練習)」の場面です。前に並んでいるのは2年生です。4月に2年生が手本を示し、その後は、分担して朝の活動の時間に2年生が1年生教室に行って指揮しています。【裏面に続きます】

《赤ブロックのスローガン》

炎のようにわたしたちの心も燃え続け、
最後まであきらめずに優勝するぞ

【スローガンに込められた思い】

炎は、消えてしまうけど、運動会をみんなで協力して、全力ですれば炎も消えないと思うし、みんなであきらめずに優勝するという熱い心を表現しました。

【頑張りたいこと】

団長



団長として、よいアドバイスをして、みんなが「絶対優勝するぞ!」という気持ちになるような運動会にすることをがんばりたいです。

副団長



副団長として、みんなが「楽しい」や「とってもよかった」と言えるようにして優勝したいです。そして、思い出に残る運動会にしたいです。

《青ブロックのスローガン》

青は海のように広い心を持ち
みんなで助け合い
あきらめずに戦い続けるぞ

【スローガンに込められた思い】

広い心を持って、みんなで協力し、あきらめずに戦い続けたい。

【頑張りたいこと】

団長



ぼくは、団長として、青ブロックのみんなを引っばっていくことと声もどのブロック長にも負けないくらいがんばりたいです。

副団長



団長やブロックのみんなのサポートをがんばります。
みんなが一生けん命がんばることができ…最後には、勝っても負けても笑顔で終われる運動会にします。

《黄ブロックのスローガン》

黄色は光のようにまぶしい心を持ち
正々堂々戦い続け優勝するぞー オー

【スローガンに込められた思い】

光はキラキラ光っていて、自分の心もまぶしく光り輝いてほしいという願いとあきらめない心を持ってほしい。

【頑張りたいこと】

団長



団長として、全体を引っ張り、優勝に導くことが目標。
くいのない最後の運動会にしたい。

副団長



副団長として、団長を助けながら場をまとめて協力して優勝することを頑張りたい。

《緑ブロックのスローガン》

緑は草原のように広い心を持ち、
最後まで心をついに団結して優勝するぞ

【スローガンに込められた思い】

草原のように広い心をもって、一人一人が優勝という目標に向かい全力であきらめず最後までやりきるブロックにしていきたいです。

【頑張りたいこと】

団長



ぼくは団長として、みんなが自信をもって優勝できるブロックにしていきたいです。
そして、他の団長にも負けない団結力を見せていきたいです。

副団長



下級生のみんなをまとめるのはむずかしいだろうけど、去年の6年生みたいに、かっこよくあこがれる副ブロック長になりたいです。

